

自治基本条例

vol.8

～桂川町の未来をみんなで創ろう！～



昨年12月9日に開催された「自治基本条例シンポジウム」で出された意見の一部と、意見に対するコーディネーターとパネリストの回答を紹介します。自治基本条例みんなで考える委員会では、今回紹介しきれなかったものも含め、シンポジウムで出されたすべての意見を参考にしながら、条例策定に向けた議論を進めています。

自治基本条例シンポジウム意見紹介

意見 私たちに何か負担が増えないか。参画、情報の共有、そういう理想的なことはいいが、無理やり参加しなければならないのか。参加を強要されないか。

回答 この心配はされなくていいと思う。この条例に書かれることは、みなさんが持っている権利や、いざとなったらこういう場があるという内容であり、負担が増したり参加を強要されたりするようなものではない。(コーディネーター)

意見 町政、まちづくりへの参画は大いに結構だが、参画する人に偏りがないようにしないといけないのではないか。

回答 ○町政に興味を持つような面白い取組を考えていけばいいのではないか。(パネリスト)

○例えば、町内のイベントやボランティアにおいても、お互いに参加を呼び掛けることが大事だと思う。(パネリスト)

意見 現在、多くの人がまちづくりや行政、議会に参加していない理由をしっかりと考えてから、参加させる仕組みを作った方がいいのではないか。

回答 これは建設的な意見なので、みんなで考える委員会での議論に生かしてもらいたい。(コーディネーター)

意見 住民の参画の機会を増やすことは賛成だが、参加する人が増えることで物事が逆に決まりにくくならないか。

回答 ○色々な人が話し合えば決まらないのは当たり前で、最終的にはどこかの時点で多数決となると思う。それは国会も一緒に、憲法や法律の根本の部分だと思う。(パネリスト)

○意見を交わして折り合うのは大変だが、相手の意見に耳を傾けて徹底的に議論を尽くして解決の道を探すことが必要。(コーディネーター)

【問合せ先】 企画財政課 企画調整係 ☎65・1085